

「ゲノム科学の進歩の歴史と、人々の生活や医療への貢献、またその将来の発展の方向性について理解する」

東京理科大学 研究推進機構生命医科学研究所講師

講師：七野 成之 氏
(しちの しげゆき)



2014年東京大学薬学部卒業、2018年東京大学医学系研究科にて 博士(医学)取得。2018年より東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門にて助教、2023年より同講師。2026年より東京理科大学野田キャンパスに新設される創域情報学部にて准教授として赴任予定。大学院生時代より、一貫して先端ゲノム解析手法をもちいた、肺の病気やがんの基礎研究に従事。開発した先端ゲノム技術をもとに理科大発ベンチャーイムノジェネテクス社を2019年に設立し、様々な産学との共同研究を展開・解析サービスを提供しています。

(概要)「ゲノム」とは、私たち人間も含め、さまざまな生物の基本設計図です。ゲノムはA,T,G,Cの4文字の長大な並びでできていますが、その並びを大規模かつ安く解読できる技術である「次世代シーケンサー」が2000年代に登場し、ヒトゲノム解読に代表されるように、さまざまな生物のゲノム暗号が解読され、生命医科学研究に大きなパラダイムシフトをもたらしました。本講演では、ゲノム科学・測定技術がどのように進歩し、生命医科学研究全般に広く利用されるようになったのか、またその成果が生活や医療にどのように活用されつつあるのかを説明します。さらに、今現在第2の大きな転換点を迎えているゲノム科学の将来についてもご紹介いたします。

**参加費
無料**

12月20日(土)14:00~16:00

場所：東京理科大学 野田キャンパス7号館6階講堂

(東武野田線運河駅より徒歩8分) オンライン(Zoom)同時開催

会場参加枠：180名
オンライン枠：250名

申込方法：右のQRコードからアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。



注1 感染症、天候等の状況により、オンライン(Zoom)のみでの配信、又は延期となる可能性があります。
注2 会場にお越しの際は、駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

次回の講演予定

第19回：2026年3月 磯濱洋一郎(薬学部薬学科 教授)



お問合せ：東京理科大学野田統括課 地域連携室 平日8:30-17:00

☎：04(7122)9137

E-mail：noda_toukatsu@admin.tus.ac.jp

野田市企画調整課 ☎：04(7197)5767

※申込開始 11月1日(土)

流山市企画政策課 ☎：04(7150)6064

※申込締切 12月17日(水)